

## 今週のメニュー

■ [トピックス](#)

◇生まれ変わったファスナーケースの展示発表

ー上田安子服飾専門学校と(株)河野プラテックとの産学研究ー

■ [随想](#)

◇オックスフォード便り

(番外編：アミーゴ！魅惑のメキシコ その1)

関東学院大学 織 朱實

■ [お知らせ](#)

○ 国際プラスチックフェア (IPF Japan 2011) 出展のご案内

○ 日経住まいのリフォーム博 2011 出展のご案内

■ [編集後記](#)

## ■ トピックス

◇生まれ変わったファスナーケースの展示発表

ー上田安子服飾専門学校と(株)河野プラテックとの産学研究ー

上田安子服飾専門学校が第64回ファッションアートカーニバル2011を10月14日と15日に大阪梅田の本館で開催しました。“smile for JAPAN”をテーマに、ファッションビジネス企画、プレゼンテーション、ファッション雑貨、商品企画コンテスト、スタイリングショーなど学生達の授業課題作品の展示と発表が行われ、たくさんの若い方々が見に来られました。また、ビジネスに関わる方やメディアの方も来場され、熱心に作品を見られていました。



上田安子服飾専門学校

この展示発表会に、西日本プラスチック製品加工協同組合を中心とする塩ビ業界と上田安子服飾専門学校のファッション工芸

デザイン学科が産学研究のひとつとして取り組んだファッション製品“スマートパッドケース”のファスナーケースが展示されました。

この産学協同の取り組みは、昨年末に関西ビニール卸協同組合の竹野理事長と一緒に「塩ビものづくりコンテスト」の作品応募をお願いに伺った折に、塩ビ素材への興味と共に、関西地区での産学研究の可能性を教えて頂いたことが発端でした。

今年3月に三原理事長の三泉工業(株)と河野副理事長の(株)河野プラテックの現場を、指導される先生方に見て頂き、更に興味を深められて具体的なテーマが絞り込まれました。

一方で、先生方の中でも塩ビ素材への関心が広がり、ファッションクリエイター学科の学生が透明で蛍光色のある軟質塩ビシートを用いて作品を作り、6月の[プレタポルテ 2011](#)で展示とスタイリングショーの発表を行って頂きました。尚、シートの提供には日本ビニール工業会の一般用フィルム部会会員会社に全面的にご協力頂きました。

今回展示された作品はB5サイズのファスナーケースが対象で、ファッション工芸デザイン学科の学生20名がそれぞれのブランドでデザインと配色を選び、素材部品の提供から加工仕上げまでを(株)河野プラテックが担当して作り上げたものです。最終段階で、学生全員が工場を見学し、自分の作品が仕上がることに感激していました。



学生作品(ファスナーケース)

展示会当日に学生の皆さんとお目にかかり、これまで地味で目立たなかったファスナーケースが個性ある作品に生まれ変わったことを目の当たりにして、ますます、塩ビ素材がデザインとのコラボレーションで新たな可能性に踏み出せると確信しました。この取り組みが継続し、更に全国に広がることを期待しています。ご協力頂いた皆様、本当にありがとうございました。(了)

## ■ 随想

### ◇オックスフォード便り

(番外編：アミーゴ！魅惑のメキシコ その1)

関東学院大学 織 朱實

ベトナム編の続きは、ちょっとお休みして、先週まで調査で訪問していたメキシコの写真をアップさせてください。私にとっても、初訪墨！（ところで、なんでメキシコはなぜ墨なんでしょうね？）わくわく、ドキドキのあっという間のメキシコ滞在でした。

メキシコの魅力といえば、①マヤ・アステカ文明に代表される古代遺跡、②スペイン植民地時代のコロニアル都市、③メキシコ料理、④フリーダ・カーロで有名な現代美術、⑤アカプルコ、カン・クーンといった国際リゾート地でしょうか？

実際に、訪問してみると個性豊かな地方都市や風習、魅惑的な伝統芸能等々行ってみたい、見てみたいものがてんこ盛りで、1回の訪問ではとてもとても見切れない、まわりきれないという感じですね（なにしろ国土も日本の5倍ですからね）。

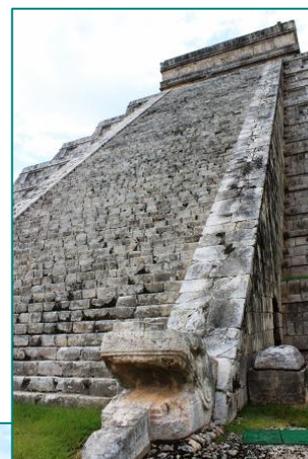
まずは、代表的なものということで、ピラミッドの写真を。



テオティワカンカの月のピラミッド



クukulカン(羽の付いた蛇の神様)(写真上)を祀るピラミッド

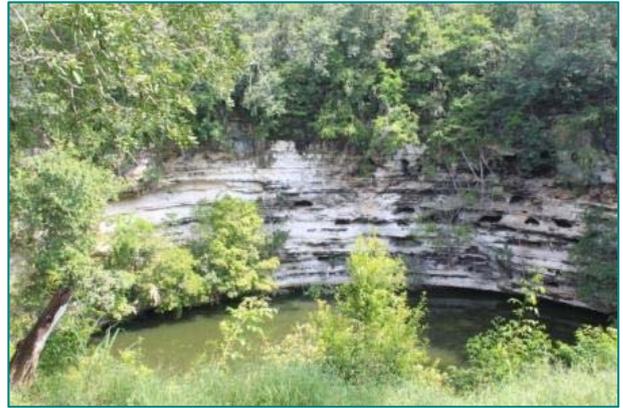


マヤでは、「生贄は名誉」ということで、遺跡には現代人からみると生々しいものが結構あります。競技場で、勝者のキャプテンが「生贄」にされるということ（なんでも勝ったチーム？負けたチームでしょう！というのが現代人の感覚ですよ）、写真は生贄が投げ込まれたセノテという地下水がわき出た泉。ここは、やはりなにかあるようで、感じる人は近くに行くこともできなくなっていました。

スペイン人は、これらの遺跡を「悪魔に取りつかれたもの」として文明や生活の記録を9割近く壊してしまったそうです。だから、今でもなんのために？という用途で作られたのは、残っている1割の資料とスペイン人の記録からしかわからないそうです。というわけで、メキシコでは「髑髏」はあまり怖いものでないらしく、お土産物にもカラフルな髑髏が勢ぞろい！メキシコのお盆の「死者の日」では髑髏のパレードとか髑髏の砂糖菓子とかで飾るので、お国が違くと死者の意識も異なりますね。

さて、メキシコの魅力はなんだろう、ということでメキシコで働いている邦人に「メキシコのどこが気に入ったの？」と聞くと、「うーん、このゆる～い感じかな」「メキシコ人の気質が肌に合ったみたいで」という回答が多数。現地に行くと、この「ゆる～い感じ」の心地よさがよくわかります（一方で、治安が悪く夜一人歩きができない、交通渋滞がひどくてビジネスアポイントがスムーズにいかないなど問題もてんこ盛りですが、それを凌駕するなにかが「このゆる～い感じ」にあるのですよね）。さらに、メキシコの人々のラテン気質だけでは説明できない、奥深さというものもあるので、そうですね（短期の訪問なので、あくまでも印象ですが）。

村上春樹の旅行記「辺境・近境」で、メキシコにくると「なぜ、あなたはメキシコにきたのか？」この質問に必ず直面するだろうとあったのですが、私もこの質問に調査先でも、観光地でも直面しました。いろいろな国に調査にいきましたが、通り一遍の訪問趣旨（海外の比較調査、欧米以外の国の動向調査がグローバル化の中で必要になってきている云々）では納得してくれず、真正面からこういう質問をぶつけられたのは初めてです。



チチェン・イツァーの生贄のセノテ



カラフルな髑髏のお土産



遺跡にいたイグアナ、素朴なお土産店の女の子

「趣旨説明が悪かったのか」「不審に思われたのか」と当初は悩んだのですが、帰国して村上春樹のエッセイを読み返してみても、すん！と腑に落ちました（これは、明確な答えでなく、「そんな感じだよ」という感覚的なものなのですけどね）。いわく「この国は入国者に向かって、パスポートとツーリスト・カードの他に、何かしら明確な目的のようなものを要求しているのかもしれない」「口に出して言えて、他人を納得させられるような明確な目的を」。『いやちょっと、いろいろなものを見たかったですよ』（中略）。というような説明では、ここではほとんど誰も納得してくれない」。

本当にそんな感じですか。「原稿を書くため」「日系企業の進出が増えているので問題解決のため」という回答だと、ぱーっと霧が晴れたような本当にいい笑顔を見せます。かといって、すべてのことに「具体的な説明」を好むというのでもなく、理念、概念なんかも先方のプレゼンではてんこ盛りです。こういう感じは、事前にどんなに本を読んでもわからなくて、現地ですぐにやり取りして、はじめて、「あー、そうだよ」と実感できるのですよね。こういう実感できるなにかがあるから、人は、旅にでるのをやめられないのでしょうか。

さて、もう一つ、びっくりしたのがメキシコの人「カメラポーズ」見てください！この写真！若いタクシーの運転手さん、1日付き合っていたので最後に「写真撮らせて〜」。で、ナチュラルにこのポーズとカメラ目線(笑)俳優志望の若者？と思ったのですが、そのあと街で写真をお願いすると、80%くらいの確率でこの「腰に手をあてて、カメラ目線！」メキシコでは、標準装備の様です。日本人がつい「ピース・ポーズ！」をとってしまうようなものではないでしょうか。日本人のピース・ポーズも、初めて日本に来た外国の人には謎のポーズかもしれませんね。写真の撮られ方一つでも、国によってさまざま面白いです。



カメラ目線のタクシー運転手

(つづく)

前回：[オックスフォード便り（番外編：ベトナム その1）](#)

## ■ お知らせ

### ○ 国際プラスチックフェア（IPF Japan 2011） 出展のご案内

世界の技術をリードするプラスチックとゴムの総合展『国際プラスチックフェア』が以下の通り開催されます。塩ビ工業・環境協会は、「塩ビものづくりコンテスト 2011」の[入賞作品など27点](#)を展示します。

- ・ 日 時 : 2011年10月25日(火)～29日(土)  
10:00～17:00(最終日のみ16:00終了)
- ・ 場 所 : 幕張メッセ 国際展示場  
(VECブース番号:【2ホール】20202)
- ・ 主 催 : 国際プラスチックフェア協議会
- ・ 入場料 : 当日一般 1,000円 ([来場登録](#)いただくと無料となります。)
- ・ [国際プラスチックフェア](#)

## ○ 日経住まいのリフォーム博 2011 出展のご案内

「リフォームのこと、誰に相談してよいか分からない」「リフォームにかかる費用や期間が分からない」「リフォーム後の暮らしや生活のイメージが見えない」・・・そんな悩みにお答えする『日経住まいのリフォーム博 2011』が以下の通り開催されます。

塩ビ工業・環境協会は、情報・出版ゾーンにリフォーム関連団体として出展し、樹脂窓・樹脂サイディングをPRします。

- ・日 時 : 2011年10月28日(金)～30日(日)  
10:00～17:00
- ・場 所 : 東京ビッグサイト 東1ホール  
(VECブース番号: 237)
- ・主 催 : 日本経済新聞社
- ・入場料 : 無料
- ・[日経住まいのリフォーム博 2011](#)

### ■ 編集後記

先日、日本橋で開催された「第58回 日本伝統工芸展」に行ってきました。この展示会は、陶芸、染色、漆芸、金工、木竹工、人形、諸工芸の7部門の公募展です。会場に入ったとたん、隅々まで埋め尽くす作品に圧倒されました。一抱えもある大きな壺から、手のひらに収まってしまう帯止め金具まで、様々な作品が600点あまり展示されていました。

思わず見入ってしまった作品は「<sup>きりかね</sup>截金硝子皿」でしたが、これは、細く切った金箔やプラチナ箔などを筆と接着剤を使って貼り、文様を表現する「截金」という技法を、硝子皿の中に施してありました。いったいどうやって作るのかと不思議でした。

全て見終わった時には3時間近く経っていましたが、作品ひとつひとつにこの技を守り伝えようという決意と、大切に作り上げた気持ちと、気が遠くなる程の時間が込められていることが感じられ、元気づけられて帰りました。(漠)

### ■ 関連リンク

- [メールマガジンバックナンバー](#)
- [メールマガジン登録](#)
- [メールマガジン解除](#)



◆編集責任者 事務局長 東 幸次

■東京都中央区新川 1-4-1

■TEL 03-3297-5601 ■FAX 03-3297-5783

■URL <http://www.vec.gr.jp> ■E-MAIL [info@vec.gr.jp](mailto:info@vec.gr.jp)